

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	22	その他の行政委員会等	【施策】	1	議会								
【基本事務事業】	2201	議会事務局業務	担当課:	6602000									
【事務事業】	220102	議事運営事業	議事調査課										
			会計区分	一般会計	計画区分								
				一般事業	0								
				戦略区分	—								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
円滑な議会運営、および、議会における意思形成過程の保存	想定外な議事日程の追加(件)	日程通り、もしくは想定される範囲内での議事日程追加程度の議事進行が望ましい。	0	0	0	0	0	計画額	4,230	4,185	4,370	4,195	4,442
			0	0	0	0	0	(一般財源)	4,230	4,185	4,370	4,195	4,442
			0	0	0	0	0	予算額	4,230	4,185	4,195	4,178	4,442
()	()		0	0	0	0	0	(一般財源)	4,230	4,185	4,195	4,178	4,442
			0	0	0	0	0	決算額	3,712	3,235	3,493	3,458	4,337
			0	0	0	0	0	職員数	5.8	4.9	4.9	4.9	4.9
()	()		0	0	0	0	0	【業務】	議事業務				
			0	0	0	0	0		会議録等調製業務				
										単位) 事業費: 千円	職員数: 人		
【対象】	市議会議員を通じた市民												
【定量分析】:課題・現状分析						【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性							
地方自治法の一部改正にも迅速に対応し、円滑な議会運営のための支援および正確な会議の記録・保管ができた。						地方分権の流れの中、議会に求められる役割を果たすべく議員と議会事務局が一体となり、円滑な議会運営を支援する。							

【政策】	22	その他の行政委員会等	【施策】	1	議会								
【基本事務事業】	2201	議会事務局業務	担当課:	6602000									
【事務事業】	220103	議会情報収集事業	議事調査課										
			会計区分	一般会計	計画区分								
				一般事業	0								
				戦略区分	—								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
円滑な議員活動への支援	議員からの情報収集依頼件数(件)		25	25	25	25	25	計画額	11,127	12,155	12,311	12,431	12,493
			25	29	39	21	43	(一般財源)	11,127	12,155	12,311	12,431	12,493
			16	16	18	20	20	予算額	11,127	12,155	12,069	12,493	12,319
()	委員会等調査研究件数(件)		16	16	18	20	20	(一般財源)	11,127	12,155	12,069	12,493	12,319
			16	20	27	24	23	決算額	8,708	8,935	8,861	9,095	8,434
			0	0	0	0	0	職員数	2.4	2.45	2.45	2.45	2.45
()	()		0	0	0	0	0	【業務】	委員会等調査研究業務				
			0	0	0	0	0						
										単位) 事業費: 千円	職員数: 人		
【対象】	市議会議員												
【定量分析】:課題・現状分析						【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性							
議員が議会活動をする上で必要とする情報、また、法令や制度改正の情報など有効と思われる情報を迅速に収集・提供し、十分な活動支援の役割を果たすことができた。						今後も時代に対応した情報収集事業の充実を図り、議員の議会活動支援に努める。							

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	22	その他の行政委員会等	【施策】	1	議会											
【基本事務事業】	2201	議会事務局業務	担当課:	6602000												
【事務事業】	220104	議会情報提供事業	議事調査課			会計区分	一般会計	計画区分	一般事業	0	戦略区分	-				
【目的】	議会の活動情報をタイムリーに提供する	【指標】	ホームページ等へのアクセス件数(件)	【指標概要】		[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
						969	1000	1000	1000	1000	計画額	19,171	15,977	18,036	16,771	15,721
						969	8116	31466	28512	32898	(一般財源)	19,171	15,977	18,036	16,771	15,721
											予算額	19,171	15,977	17,800	15,661	15,559
											(一般財源)	19,171	15,977	17,800	15,661	15,559
						0	0	0	0	0	決算額	17,963	14,477	15,391	14,505	14,489
						0	0	0	0	0	職員数	2.4	2.45	2.45	2.45	2.45
											単位) 事業費:千円	職員数:人				
【対象】	市民(市議会議員を含む)					0	0	0	0	0	【業務】	議会広報業務 会議録検索システム運用管理業務 議会刊行物発行業務				
						0	0	0	0	0	【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					
【定量分析】: 課題・現状分析						【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性										
本会議のインターネット録画中継では、会派名、発言者名、常任委員長名等のテロップを表示し、充実を図った。会議録検索システムでは、4常任委員会、予算・決算審査特別委員会の会議記録も閲覧可能にした。						今後も市民への議会情報提供の充実を図る。										

【政策】	22	その他の行政委員会等	【施策】	1	議会											
【基本事務事業】	2201	議会事務局業務	担当課:	6601000												
【事務事業】	220105	議員報酬等	庶務課			会計区分	一般会計	計画区分	一般事業	0	戦略区分	-				
【目的】		【指標】	(回)	【指標概要】		[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
						0	0	0	0	0	計画額	509,083	490,413	490,413	510,322	507,680
						0	0	0	0	0	(一般財源)	509,083	490,413	490,413	510,322	507,680
											予算額	509,083	490,413	479,605	492,179	519,079
											(一般財源)	509,083	490,413	479,605	492,179	519,079
						0	0	0	0	0	決算額	491,877	484,941	481,108	482,986	519,077
						0	0	0	0	0	職員数	0.8	0.95	1.05	0.95	0.9
											単位) 事業費:千円	職員数:人				
【対象】						0	0	0	0	0	【業務】					
						0	0	0	0	0	【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					
【定量分析】: 課題・現状分析						【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性										
市議会議員に対し遅滞することなく円滑に報酬等を支出することができた。						計数的な誤り及び指定日に遅滞なく市議会議員の報酬等を支出できるように努める。										

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	22 その他の行政委員会等	【節】	未設定
【施策】	2 行政委員会	【項】	
【基本事務事業】	2202 選挙管理委員会書記業務	【基本計画区分】	0【担当課】 8101000 選挙管理委員会事務局
【目的】	各種選挙に関し、関係法令を遵守し間違いや違反のない、適正かつ公平な選挙の執行に努める。	【背景】	各種選挙における投票率が、長期低落の傾向にある。選挙に関する不正行為の存在により、政治・選挙への信頼の低下が見られる。
		【今後の課題】	
【重要性】		【現状分析】	平成19年度は衆議院選挙が行われなかったため予算目標をゼロにした。
		【指標】	上段: 予算目標 下段: 実績
		コード	配下事務事業名
		220201	選挙管理委員会運営事業
		220202	選挙啓発事業
		220203	参議院議員選挙費
		220204	県知事選挙費
		220205	衆議院議員選挙費
		220206	県議会議員選挙費
		220207	市長選挙費
		220208	市議会議員選挙費
		220209	農業委員選挙費
		【担当部課評価】	最終結果・課題の解決策・今後の方向性 成果改善 投票所のバリアフリー化を推進し、投票環境の向上を図りたい。また、投・開票事務の効率化を検討したい。啓発面では明るい選挙推進委員の方達とより緊密な関係をたもち活動を行うことにより、投票率の向上に寄与していきたい。
		[H15]	[H16]
		[H17]	[H18]
		[H19]	
		投票率(衆議院)	69.57
		(%)	55.24
			0
			0

【政策】	22 その他の行政委員会等	【施策】	2 行政委員会
【基本事務事業】	2202 選挙管理委員会書記業務	担当課:	8101000
【事務事業】	220201 選挙管理委員会運営事業	選挙管理委員会事務局	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 0 戦略区分 -
【目的】	公平公正な選挙権を保障するために、選挙管理委員会を開催して選挙事務を管理する。	【指標】	委員会の実施回数(回)
		【指標概要】	開催回数理由: 委員会の適正な管理運営を図り、公正な委員会を維持していくため。
		[H15]	[H16]
		[H17]	[H18]
		[H19]	
		16	16
		16	17
		16	16
		0	0
		0	0
		0	0
		0	0
		0	0
		0	0
【対象】	選挙人、選挙管理委員会委員	【業務】	選挙管理委員報酬 交際費 選挙管理委員会運営業務 選挙人名簿調製事務電算委託業務
		【指標値】	上段: 予算目標 下段: 実績
		【定量分析】	課題・現状分析
		【担当部課評価】	最終結果・課題の改善策・今後の方向性
			国・県・市等の各種選挙に関し、関係法令を遵守することで、市民の意思が政治に反映される選挙となるように適正な執行管理を行う。
			投票所のバリアフリー化を推進し、投票環境の向上を図る。また若年者への啓発も推進する。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	22	その他の行政委員会等	【施策】	2	行政委員会								
【基本事務事業】	2202	選挙管理委員会書記業務	担当課:	8101000									
【事務事業】	220204	県知事選挙費	選挙管理委員会事務局	会計区分	一般会計								
				計画区分	一般事業								
				0	戦略区分								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
一人一人が自覚と責任を持ち、選挙権を行使できるようにする。	投票率(%)	投票者数÷有権者数理由:選挙への関心度として、選挙人が選挙権を行使した割合	0	60.32	0	0	0	計画額	0	107,935	0	0	0
			0	38.16	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
								予算額	0	107,935	0	0	0
	()		0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	決算額	0	117,144	0	0	0
			0	0	0	0	0	職員数	0	3.25	0	0	0
								単位) 事業費:千円		職員数:人			
【対象】			0	0	0	0	0	【業務】	投票所関係業務				
市内居住の有権者			0	0	0	0	0		開票所関係業務				
									啓発等関係業務				
								【指標値】	上段: 予算目標	下段: 実績			
								【定量分析】: 課題・現状分析					
								公職選挙法にもとづき、選挙の公正かつ適正な管理執行を行った。					
								【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性					
								高齢者や体の不自由な方のため、投票所のバリアフリー化を推進し、投票環境の向上を図る。また、投・開票事務の効率化を検討していく。					

【政策】	22	その他の行政委員会等	【施策】	2	行政委員会								
【基本事務事業】	2202	選挙管理委員会書記業務	担当課:	8101000									
【事務事業】	220205	衆議院議員選挙費	選挙管理委員会事務局	会計区分	一般会計								
				計画区分	一般事業								
				0	戦略区分								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
一人一人が自覚と責任を持ち、選挙権を行使できるようにする。	投票率(%)	投票者数÷有権者数理由:選挙への関心度として、選挙人が選挙権を行使した割合(小選挙区)	69.57	0	69.57	0	0	計画額	125,428	0	121,093	0	0
			55.24	0	64.13	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
								予算額	125,428	0	121,093	0	0
	()		0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	決算額	125,428	0	121,093	0	0
			0	0	0	0	0	職員数	3.25	0	3.25	0	0
								単位) 事業費:千円		職員数:人			
【対象】			0	0	0	0	0	【業務】	投票所関係業務				
市内居住の有権者			0	0	0	0	0		開票所関係業務				
									啓発等関係業務				
								【指標値】	上段: 予算目標	下段: 実績			
								【定量分析】: 課題・現状分析					
								公職選挙法にもとづき、選挙の公正かつ適正な管理執行を行う。					
								【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性					
								高齢者や体の不自由な方のため、投票所のバリアフリー化を推進し、投票環境の向上を図る。また、投・開票事務の効率化を検討していく。					

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	22 その他の行政委員会等	【節】	未設定
【施策】	2 行政委員会	【項】	
【基本事務事業】	2203 公平委員会	【基本計画区分】	0【担当課】 2511000 総務企画本部企画管理室

【目的】 適正な人事行政を担保する。	【背景】 社会経済情勢の変化により市民ニーズも多様化・複雑化している中、市職員をめぐる環境も大きく変動しており、適正な人事行政を担保する公平委員会の役割はますます大きなものとなってきている。	コード 220301 公平委員会運営事業	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 市職員をめぐる環境が変動している中で、適正な人事行政を担保する公平委員会の担う役割はますます増大すると考えられる。今後、勤務条件に関する措置の要求、不利益処分についての不服申し立て、職員からの苦情相談等が増加・多様化すると予想されるため、関係規定に則り適正・迅速な対応を行う。
	【今後の課題】 職員からの苦情相談など、ますます増加・多様化する人事問題への対応が課題となっている。		

【重要性】
地方公務員法第7条第2項の規定により設置が義務付けられており、市内部の適正な人事行政を担保するための重要な行政委員会であり、その担う役割は大きい。

【現状分析】 勤務条件に関する措置の要求への迅速な対応、職員団体の登録に関する事務、公平委員会の運営に関する業務を行った。	【指標】 上段: 予算目標 下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
	事案に対する対応率	100	100	100	100	100
	(%)	100	100	100	100	100
		0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0

【政策】	22 その他の行政委員会等	【施策】	2 行政委員会
【基本事務事業】	2203 公平委員会	担当課:	2511000
【事務事業】	220301 公平委員会運営事業	総務企画本部企画管理室	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 0 戦略区分 -

【目的】 適正な人事行政を担保すること。	【指標】 対応率(%)	【指標概要】 対応件数/事案件数	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
			100	100	100	100	100	計画額	2,065	1,508	1,700	1,504	1,704
			100	100	100	100	100	(一般財源)	2,065	1,508	1,700	1,504	1,704
	()		0	0	0	0	0	予算額	2,065	1,508	1,482	1,503	1,628
			0	0	0	0	0	(一般財源)	2,065	1,508	1,482	1,503	1,628
			0	0	0	0	0	決算額	1,655	1,463	1,453	1,467	1,608
								職員数	1.3	1.1	1.35	1.35	1.35
								単位) 事業費: 千円 職員数: 人					
【対象】 市職員及び職員団体	()		0	0	0	0	0	【業務】	公平委員報酬				
			0	0	0	0	0	公平委員会運営業務					

【定量分析】: 課題・現状分析
適正な人事行政を担保するため、勤務条件に関する措置の要求への対応や、職員団体の登録に関する事務を行った。また、公平委員会の運営に関する業務を行った。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性
勤務条件に関する措置の要求、不利益処分についての不服申し立て、職員からの苦情相談等が今後増加することが予想されるので、関係規程に則り適正な対応を行う。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	22 その他の行政委員会等	【節】	未設定
【施策】	2 行政委員会	【項】	
【基本事務事業】	2204 監査委員事務局業務を実施する	【基本計画区分】	0【担当課】 8201000 監査委員事務局

【目的】	・行財政運営の適法性、正確性を確保するとともに、経済性・効率性・有効性の向上を図る。・公正で合理的、かつ、能率的な行政運営を確保する。	【背景】	多様化・高度化する市民のニーズへ適切な対応をする為に経済性・効率性・有効性等の観点を重視した監査が求められている。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
				220401	監査実施事業	引き続き適正な監査業務の執行に努めつつ、多様化・高度化する市民のニーズに応えていく。
				220402	非常勤監査委員報酬3人	
				220403	交際費	

【今後の課題】
 多様化・高度化する市民のニーズへ適切な対応をする為に経済性・効率性・有効性等の観点を重視した監査を今まで以上に重点的・効率的に実施することが必要となる。

【重要性】
 監査委員事務局の業務は地方自治法に定められており、市の事務の執行や財務に関する事務の執行、経営に係る事業の管理が予算、議決、法令等に基づいて適正かつ効率的、効果的に行われているかどうか検証し、監査結果を市や議会、市民に広く公表することで、行政の透明性、効率性、有効性を高めることが必要である。

【現状分析】
 計画目標を達成しており、特段問題点等はない。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
実施率			100	100	100	100	100
(%)			100	100	100	100	100
訴訟の件数			0	0	0	0	0
(件)			0	0	0	1	0

【政策】	22 その他の行政委員会等	【施策】	2 行政委員会
【基本事務事業】	2204 監査委員事務局業務を実施する	担当課:	8201000
【事務事業】	220401 監査実施事業	監査委員事務局	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 0 戦略区分 -

【目的】	公正で合理的かつ能率的な市の行政運営確保の為に監査を実施する。	【指標】	実施率(%)	【指標概要】	実施件数/対象件数*100	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
						100	100	100	100	100	計画額	5,041	4,640	4,627	4,628	4,364
						100	100	100	100	100	(一般財源)	5,041	4,640	4,627	4,628	4,364
											予算額	5,041	4,676	4,628	4,434	3,965
											(一般財源)	5,041	4,676	4,628	4,434	3,965
						0	0	0	0	0	決算額	4,403	3,833	3,684	3,463	3,189
						6	2	5	3	3	職員数	13	13	13	13	13
											単位) 事業費: 千円 職員数: 人					

【対象】
 松戸市行政機関(各所属)、財政援助団体等

(0)						0	0	0	0	0
						0	0	0	0	0

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析
 監査実施計画及びその他の監査業務を遺漏なく遂行することができた。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性
 今後も適正な事業の遂行に努めたい。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	22 その他の行政委員会等	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	2 行政委員会	【項】	活力ある産業の振興
【基本事務事業】	2205 農業委員会に係る事業	【基本計画区分】	503【担当課】 8301000 農業委員会事務局

【目的】	農地を管理する。	【背景】	都市化の進行、担い手の不足、農地の転用の増加、農地の減少	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性	現状維持
				220501	農業委員会運営事業		遊休農地の調査を実施し、市街化調整区域内農地のより一層の適正管理を行う必要がある。また、違反転用のパトロールを実施し、農地転用の適正指導を行なうことによつて、農地の効率的な利用促進と集積化を進める。
				220502	農地統制事業		
				220503	農地利用調整事業		
				220504	農地管理事業		

【今後の課題】
農地転用の適正指導。農地の効率的な利用を図るため、集積化を進める。

【重要性】
市街化調整区域内農地の適正管理を行う必要がある。遊休農地の解消

【現状分析】
農業従事者の高齢化や相続等の所有権移転により、集積しやすい場所と耕作者のニーズがみ合わない場面がある。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
農地集積面積			8.07	9	10	10	10
(ha)			6.2	11	8.7	0	5.4
			0	0	0	0	0
()			0	0	0	0	0

【政策】	22 その他の行政委員会等	【施策】	2 行政委員会
【基本事務事業】	2205 農業委員会に係る事業	担当課:	8301000
【事務事業】	220501 農業委員会運営事業	農業委員会事務局	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 503 戦略区分 -

【目的】	農地法・農業委員会等に関する法律に基づく業務を執行するため、毎月総会を開催する。農業者の利益代表機関であり、農業者の意見・要望を取りまとめ農業経営の安定を図る。	【指標】	農業委員会総会の回数 (回数)	【指標概要】	回数	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
						8.07	8.07	12	12	12	計画額	15,462	17,324	18,868	16,197	18,901
						6.2	6.2	13	12	12	(一般財源)	10,202	11,789	13,746	13,523	15,822
						0	0	12	12	12	予算額	15,462	15,168	18,294	18,462	18,405
						0	0	12	12	12	(一般財源)	10,202	9,633	13,048	15,788	15,118
						0	0	12	12	12	決算額	17,802	18,043	18,370	18,229	18,275
											職員数	3	3	3	8	4.9
											単位) 事業費: 千円 職員数: 人					

【対象】
松戸市農業委員(26名)

()						0	0	0	0	0
						0	0	0	0	0

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【業務】
農業委員報酬(24人)
農業委員会運営業務
交際費
農業委員選挙人名簿調製業務
自立経営農家育成支援業務

【定量分析】: 課題・現状分析
総会を定例会として毎月開催し、年12回実施した。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性
総会を毎月安定的に開催することにより、農地転用及び利用集積等の申請案件を迅速かつ的確に処理し、農業経営の安定を図った。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	22	その他の行政委員会等	【施策】	2	行政委員会									
【基本事務事業】	2205	農業委員会に係る事業	担当課:	8301000										
【事務事業】	220502	農地統制事業	農業委員会事務局	会計区分	一般会計									
				計画区分	一般事業									
					503									
					戦略区分									
					—									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
国有農地の適正管理するための、パトロールをする。	国有農地数(筆数)	国有農地筆数	56	56	53	54	54	計画額	0	0	0	0	0	
			56	54	55	54	53	(一般財源)	0	0	0	0	0	
									予算額	0	0	0	0	0
									(一般財源)	0	0	0	0	0
									決算額	0	0	0	0	0
(0)			0	0	0	0	職員数	1	1	1.3	1.3	1.3		
			0	0	0	0	単位) 事業費:千円 職員数:人							
(0)			0	0	0	0	【業務】							
			0	0	0	0	【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績							
【対象】	国有農地(農林水産省所有)		【定量分析】: 課題・現状分析					【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性						
			年間当り53回～56回国有農地のパトロールを行った。					毎年度、一週当り最低1回は全ての国有農地のパトロールを行った結果、国有農地はすべて適正に管理されている。						

【政策】	22	その他の行政委員会等	【施策】	2	行政委員会									
【基本事務事業】	2205	農業委員会に係る事業	担当課:	8301000										
【事務事業】	220503	農地利用調整事業	農業委員会事務局	会計区分	一般会計									
				計画区分	一般事業									
					503									
					戦略区分									
					—									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
遊休農地の解消を促進する。	農地集積数(ha)		10	10	10	10	10	計画額	0	0	0	0	0	
			6	14	6	11	11	(一般財源)	0	0	0	0	0	
									予算額	0	0	0	0	0
									(一般財源)	0	0	0	0	0
									決算額	0	0	0	0	0
(0)			0	0	0	0	職員数	2	2	1.05	1.05	1.05		
			0	0	0	0	単位) 事業費:千円 職員数:人							
(0)			0	0	0	0	【業務】							
			0	0	0	0	【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績							
【対象】	農地耕作面積10a以上を所有し、年間60日以上耕作している市内農家。		【定量分析】: 課題・現状分析					【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性						
			農地集積は近年増加傾向にあり、1ヶ月当り1件の実績となっている。					後継者不足などによる農家戸数の減少や低い農業収入のため、現在もかなりの面積の遊休農地が存在するが(平成18年2月現在 約20ha)、農地銀行を中心として集積が徐々に進んでいる。						

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	22	その他の行政委員会等	【施策】	2	行政委員会
【基本事務事業】	2205	農業委員会に係る事業	担当課:	8301000	
【事務事業】	220504	農地管理事業	農業委員会事務局	会計区分	一般会計
				計画区分	一般事業
				5	戦略区分

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
遊休農地の権利関係を調整、集約し農地の有効利用と農家数の減少を防ぐ。	農家戸数(世帯)	農家戸数	1206	1206	1131	1131	1131	計画額	719	825	813	813	719	
			1219	1206	1131	1131	1131	(一般財源)	719	825	813	813	719	
	農地面積(ha)	農地面積	926	926	926	926	926	予算額	719	825	998	719	719	
			914	903	889	871	856	(一般財源)	719	825	998	719	719	
	()			0	0	0	0	0	決算額	719	825	998	718	718
				0	0	0	0	0	職員数	0.5	0.5	0.75	0.75	0.75
								単位) 事業費: 千円		職員数: 人				
【対象】								【業務】	農地基本台帳整備業務					
農地耕作面積10a以上を所有し、年間60日以上耕作している農家。一生懸命農業をやる農家。														

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

農地基本台帳を整備するため、各農家組合に農業委員選挙人名簿登録申請の配布等を依頼した。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

農地基本台帳を整備することにより、農地耕作面積10a以上を所有し、年間60日以上耕作している農家の実態把握等、作業の効率が上がったが、農地有効利用と農家数の減少を防ぐまでには至らなかった。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	22 その他の行政委員会等	【節】	連携型地域社会の形成
【施策】	3 組織	【項】	情報提供の充実
【基本事務事業】	2206 秘書業務	【基本計画区分】	104【担当課】 1401000 秘書課

【目的】 国・県、他市との連絡調整並びに市長・助役の秘書業務を行うことにより、市政の円滑な運営を推進するとともに、各分野で功績のあった個人、団体等を表彰することによって市の活力の高揚を図る。	【背景】 地方分権が進むなか、個性と活力ある地域づくりを進めるためには、相互に広域的な補完関係を持った活動により地域課題を解決する必要性が益々増してきている。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 市長・副市長公務を円滑に遂行し、効率的で信頼のある秘書業務の推進を図る。
		220601	秘書関係事業	
		220602	交際費	
		220603	表彰関係事業	
		220604	市長会関係事業	
		220605	市制施行60周年記念事業	

【今後の課題】

【重要性】

効率的な行政運営を進めるためには、広域的な視野に立ち、国・県、他市との連携・調整を図ることや、県市長会を通じての要望活動、情報収集等もますます重要なものとなってきている。

【現状分析】

国・県・他市との連携や、県市長会等への要望活動は、地域が抱える多種多様な課題を解決していくうえで、今後も益々重要性を増していくものと考えている。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
要案件数	()	()	5	5	5	5	5
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0

【政策】	22 その他の行政委員会等	【施策】	3 組織
【基本事務事業】	2206 秘書業務	担当課:	1401000
【事務事業】	220601 秘書関係事業	秘書課	

【目的】	【指標】	【指標概要】	【指標値】					【事業費】					
			[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
市長と副市長の公務を円滑に遂行するための、調整及びサポートを行う。	連絡・報告事項の誤謬(件)	連絡・報告事項の誤謬	0	0	0	0	0	計画額	4,792	4,489	4,408	3,945	3,945
			0	0	0	0	0	(一般財源)	4,792	4,489	4,408	3,945	3,945
()	()	()	0	0	0	0	0	予算額	4,792	4,489	4,146	3,945	3,945
			0	0	0	0	0	(一般財源)	4,792	4,489	4,146	3,945	3,945
()	()	()	0	0	0	0	0	決算額	3,120	2,460	2,695	2,450	2,471
			0	0	0	0	0	職員数	9.2	9.2	9.2	9.2	8.2

単位) 事業費: 千円 職員数: 人

【対象】	市長・副市長	【業務】	
		【指標値】	上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析
 適切に業務を遂行すると同時に効率的な予算執行に努めた。コスト削減した上で報告連絡事項の誤謬がなかった。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性
 今後とも適切に業務を遂行すると同時に効率的な予算執行に努め、経費削減を目指していく。今後もコストを削減し報告連絡事項の誤謬をなくしていく。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	22	その他の行政委員会等	【施策】	3	組織								
【基本事務事業】	2206	秘書業務	担当課:	1401000									
【事務事業】	220602	交際費	秘書課			会計区分	一般会計	計画区分	一般事業	0	戦略区分	-	
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
市長等が、儀礼または市の利益に資するものと判断したうえで、市とのかかわりの程度等をしん酌のうえ適正に支出するもの。	(0)		0	0	0	0	0	計画額	4,300	3,440	3,440	3,100	2,790
			0	0	0	0	0	(一般財源)	4,300	3,440	3,440	3,100	2,790
								予算額	4,300	3,440	3,100	2,790	2,510
	(0)		0	0	0	0	0	(一般財源)	4,300	3,440	3,100	2,790	2,510
			0	0	0	0	0	決算額	1,894	1,599	1,818	1,742	1,494
			0	0	0	0	0	職員数	0	0	0	0	0
								単位) 事業費：千円		職員数：人			
【対象】	(0)		0	0	0	0	0	【業務】					
市長等が、市政運営上交際を必要とする個人または団体。			0	0	0	0	0	【指標値】上段：予算目標 下段：実績					
【定量分析】：課題・現状分析						【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性							
適正に業務を遂行すると同時に、昨今の社会経済情勢財政状況を鑑み、精査し効率的な執行を行った結果、交際費の支出は減少してきている。						今後より精査し効率的な執行に努めていきたい。							

【政策】	22	その他の行政委員会等	【施策】	3	組織								
【基本事務事業】	2206	秘書業務	担当課:	1401000									
【事務事業】	220603	表彰関係事業	秘書課			会計区分	一般会計	計画区分	一般事業	103	戦略区分	-	
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
さまざまな分野で著しい功績のあった個人・団体を、国・県または市において表彰し、その功績を顕彰する。もって、受賞者を賞賛、また、さらなる精励・精進を促すことにより、市の活力を高揚させる。	市長賞等の授与(件)		50	50	50	50	50	計画額	1,444	1,072	1,061	1,214	1,214
			43	48	49	54	50	(一般財源)	1,444	1,072	1,061	1,214	1,214
								予算額	1,444	1,072	1,061	1,214	1,214
	叙位叙勲、知事表彰等の推薦(人)		3	3	3	3	3	(一般財源)	1,444	1,072	1,061	1,214	1,214
			4	4	2	1	1	決算額	991	1,042	1,057	861	884
								職員数	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
								単位) 事業費：千円		職員数：人			
【対象】	(人)		0	0	0	0	0	【業務】					
さまざまな分野で功績のあった個人・団体。			0	0	0	0	0	【指標値】上段：予算目標 下段：実績					
【定量分析】：課題・現状分析						【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性							
本事業は各分野で著しい功績のある個人・団体を国県市において表彰し、その功績を顕彰している。例年、市長賞等の授与について、目標値の範囲内である。						今後とも各分野で著しい功績のある個人・団体を国県市において表彰し、その功績を顕彰する。今後とも市長賞等の授与については、目標値の範囲内で実施していきたい。							

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	22	その他の行政委員会等	【施策】	3	組織									
【基本事務事業】	2206	秘書業務	担当課:	1401000										
【事務事業】	220604	市長会関係事業	秘書課			会計区分	一般会計	計画区分	一般事業	603	戦略区分	—		
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
全国各市間及び国・県との連絡調整を図り、市政の円滑なる運営と進展に寄与する。	要望件数(件)	社会情勢の変化に的確に対応していく	5	5	5	5	5	計画額	4,315	4,305	4,305	4,245	3,818	
			5	5	5	5	5	(一般財源)	4,315	4,305	4,305	4,245	3,818	
			0	0	0	0	0	0	予算額	4,315	4,305	4,245	3,818	3,242
()	()		0	0	0	0	0	(一般財源)	4,315	4,305	4,245	3,818	3,242	
			0	0	0	0	0	0	決算額	4,296	4,245	4,229	3,818	3,242
			0	0	0	0	0	0	職員数	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
【対象】 全国各市	()		0	0	0	0	0	【業務】	全国市長会等負担金					
			0	0	0	0	0							
			【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績											
【定量分析】: 課題・現状分析						【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性								
国や県に対して、広域的な問題について、近隣市と連携を図りながら、市長会を通じて積極的に要望を行う。要望件数は、国・県から指定があるので、その件数範囲で要望している。						今後国や県に対して、広域的な問題について、近隣市と連携を図りながら、市長会を通じて積極的に要望を行う。今後も、国・県からの指定件数の範囲内で要望していく。								

【政策】	22	その他の行政委員会等	【施策】	3	組織										
【基本事務事業】	2206	秘書業務	担当課:	1401000											
【事務事業】	220605	市制施行60周年記念事業	秘書課			会計区分	一般会計	計画区分	一般事業	103	戦略区分	—			
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]		
市民が記念行事等の場を通して、一体感を高められるようにする。また、市政施行記念を祝えるようにする。	市制施行60周年に係る記念行事参加者数(千人)	市制施行60周年に係る行事等の開催状況について、関係部署にアンケート調査を行い、参加者数を把握する	1500	0	0	0	0	計画額	2,461	0	0	0	0		
			2125	0	0	0	0	0	(一般財源)	2,461	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	0	0	予算額	2,461	0	0	0	0
()	()		0	0	0	0	0	(一般財源)	2,461	0	0	0	0		
			0	0	0	0	0	0	0	決算額	1,803	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	職員数	1	0	0	0	0
【対象】 市民及び松戸市に関りのある人	()		0	0	0	0	0	【業務】	単位) 事業費: 千円 職員数: 人						
			0	0	0	0	0								
			【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績												
【定量分析】: 課題・現状分析						【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性									
節目の年に記念事業を実施することにより、多くの市民の参加があり、同時に、一体感を高められた。また、市制施行記念を盛大に祝うことができた。						今後、節目の年においても同様に記念事業を施行していく。									

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	22 その他の行政委員会等	【節】	都市経営の視点に立った行財政運営
【施策】	3 組織	【項】	行政としての経営基盤の強化
【基本事務事業】	2207 会計業務	【基本計画区分】	602【担当課】 1101000 会計課

【目的】	【背景】	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性
		220701	出納事業	出納事業は、法令(地方自治法・松戸市財務規則)に基づき、公金の適正な出納管理及び効率的な運用を遂行しなければならない事業であり、これを継続しなければならない。よって今後の出納事業は、第3次実施計画の事務事業としても継続し、適正な出納管理及び確実な資金運用を推進する。
	【今後の課題】			ペイオフの全面解禁に対応した公金の管理。

【重要性】
 公金の管理・運用は、地方自治法で定められた行政事務の実行に必要不可欠な事業であり、適正に推進していく必要がある。また、長引く景気の低迷による金融機関の預金利率の低下や、ペイオフ制度の創設等により、資金管理がますます重要となっている。

【現状分析】
 出納事業は、法令に基づき公金の適正な出納管理を遂行した。また、歳計現金を松戸市資金運用方針に基づき借入額の相殺枠の範囲内で安全かつ確実な資金運用を遂行した。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
公金の収支率(歳計現金保管割合)	(%)	(%)	90	90	90	90	90
			65	68	97	96	97
公金の運用率(歳計現金運用割合)	(%)	(%)	10	10	10	10	10
			68	64	59	59	50

【政策】	22 その他の行政委員会等	【施策】	3 組織
【基本事務事業】	2207 会計業務	担当課:	1101000
【事務事業】	220701 出納事業	会計課	
		会計区分	一般会計
		計画区分	一般事業
		602	戦略区分
			—

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
公金(歳計現金、歳入歳出外現金、基金に属する現金、預託金)の適正な出納管理及び資金運用を推進する。	公金の収支率(歳計現金保管割合)(%)	歳出済額/歳入済額	90	90	90	90	90	計画額	26,786	28,156	28,225	27,777	27,651
			65	68	97	96	97	(一般財源)	26,638	28,009	28,077	27,643	27,550
								予算額	26,786	28,156	27,777	27,429	29,538
								(一般財源)	26,638	28,009	27,643	27,325	29,410
								決算額	25,923	26,907	26,027	25,652	27,893
								職員数	16	16	16	16	16
								単位) 事業費: 千円					
								職員数: 人					
【対象】	()		0	0	0	0	0	【業務】	収入業務				
市民等(納付者・債権者)、市執行機関等			0	0	0	0	0	支出業務					
								審査業務					
								出納関係業務					
								【指標値】	上段: 予算目標	下段: 実績			

【定量分析】: 課題・現状分析
 出納事業は、法令に基づき公金の適正な出納管理を遂行した。また、歳計現金を松戸市資金運用方針に基づき借入金の相殺枠の範囲内で安全かつ確実な資金運用を遂行した。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性
 出納事業は、法令(地方自治法・松戸市財務規則)に基づき、公金の適正な出納管理及び効率的な運用を遂行しなければならない事業であり、これを継続しなければならない。よって今後の出納事業は第3次実施計画の事務事業としても継続し、適正な出納管理及び確実な資金運用を推進する。